

平成 29 年度 第 1 回 地方独立行政法人長野市民病院評価委員会 議事録

1 日 時 平成 29 年 5 月 30 日（火曜日） 午後 2 時から 4 時まで

2 場 所 長野市役所 7 階 第二委員会室

3 出席者

（出席委員）

岩野 彰	委員
小口 壽夫	委員
坂口 直子	委員
田中 榮司	委員
柳原 静子	委員

（委員以外の出席者）

池田 宇一	（地方独立行政法人長野市民病院理事長）
市川 専一郎	（同 理事）
内川 利康	（同 経営管理担当参与）
渡辺 敏明	（同 企画財務課長）
福島 孝志	（同 総務人事課長）

（事務局）

竹内 裕治	（長野市保健福祉部長）
小林 祐二	（長野市保健福祉部医療連携推進課長）
大井 久幸	（同 医療連携推進課長補佐）
西山 純一	（同 医療連携推進課長補佐）
相澤 優充	（同 医療連携推進課係長）

4 議 事

（1）委員長互選

（2）平成 29 年度方針（案）について

- | | |
|-------------------------------|----------|
| ・平成 29 年度審議事項等スケジュール（案） | 【資料 1-1】 |
| ・地方独立行政法人長野市民病院業務実績評価方針 | 【資料 1-2】 |
| ・地方独立行政法人長野市民病院の財務諸表等の確認方針（案） | 【資料 1-3】 |
- （3）中期計画・平成 28 年度年度計画の確認について
- | | |
|---------------|------------|
| ・中期計画 | 【資料 2-1】 |
| ・平成 28 年度年度計画 | 【資料 2-2】 |
| | 【追加資料 2-3】 |
| | 【追加資料 2-4】 |

(4) 病院報告事項

- ・平成 28 年度の業務実績
- ・平成 29 年度年度計画

【資料 3-1】

【資料 3-2】

【追加資料 3-3】

5 その他

○ 開 会 午後 2 時

(事務局)

ご案内の時間となりました。

委員の皆様には、大変お忙しい中、ご出席を賜りまして、誠に有難うございます。

本日は、小林委員がご都合により欠席となっておりますが、地方独立行政法人長野市民病院評価委員会条例第 6 条第 2 項の規定で定めます定足数を満たしておりますので、ただいまから、第 1 回地方独立行政法人長野市民病院評価委員会を開催させていただきます。

なお、本日の会議につきましては、3 時半くらいを目安としまして、終了を予定でございますので、よろしくお願いいたします。

また、本日の委員会につきましては、公開で行い、議事録作成のため、録音させていただきますので、ご了承をお願いいたします。

それでは、委員の皆様のご紹介をさせていただきます。

皆様のお手元にお配りいたしました委員名簿のとおり、再任の方が 4 名、新任の方が 2 名、計 6 名の皆様に委嘱申し上げました。

なお、委嘱書の交付につきましては、大変恐縮でございますが、あらかじめ皆様方の机の上に配付させていただきましたのでよろしくお願いいたします。

委員の任期は平成 29 年 5 月 19 日から平成 31 年 5 月 18 日までの 2 年間でございますので、よろしくお願いいたします。

<委員紹介>

○ 保健福祉部長あいさつ

保健福祉部長の竹内でございます。

本日は、お忙しい中、またお暑い中、ご出席を賜りましてありがとうございます。

また、評価委員会の委員へのご就任をお願いしましたところ、快くお引き受けいただきまして重ねて御礼申し上げます。

これから、2 年間、委員をお願いすることになりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、早いもので地方独立行政法人長野市民病院が発足して 1 年が経ちました。

長野市民病院は、池田理事長兼病院長が先頭に立って、設立当初から地方独立行政法人の長所を十分に生かしながら、速やかで柔軟な組織運営に努めていただいたものと思っております。

本年度は、委員の皆様には、昨年度に定めました業務実績評価方針に従いまして、業務が中期計画に沿って着実に行われているかについて評価をしていただくことになります。

地方独立行政法人へ移行してから初めての評価となりますが、皆様の評価を通じまして、市民をはじめとします患者さんへの医療サービスの向上や、病院の業務改善が一層推進されることを期待しております。

皆様には、それぞれの専門のお立場から忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。私からのご挨拶とさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

(事務局)

次に、事務局から自己紹介申し上げます。

<事務局自己紹介>

続きまして、本日、地方独立行政法人長野市民病院の役職員が出席しておりますので、ご紹介させていただきます。

<市民病院自己紹介>

○ 会議事項

(事務局)

それでは議事に入らせていただきます。

はじめに、(1) 委員長互選でございますが、委員長につきましては、地方独立行政法人長野市民病院評価委員会条例第5条第1項の規定によりまして、委員の皆様の互選によることとなっております。

選考の方法につきましては、委員の皆様にお諮りしたいと存知ますが、いかようにお取り計りをしたらよろしいでしょうか。

(岩野委員)

事務局で何か案がありましたら、お願いいたします。

(医療連携推進課長)

それでは、事務局からご提案申し上げます。

委員長には、昨年度、委員長をお務めいただいた、国立大学法人 信州大学 医学部長 田中 榮司様に引き続きお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

(異議なしの声)

(事務局)

ただいま、異議なしとのお声がありましたが、皆さんよろしいでしょうか。

それでは、皆様のご賛同をいただきましたので、委員長は田中委員にお願いすることに決定いたしました。

大変恐縮ですが、ここで田中委員長には、委員長席にご移動をお願いいたします。

(田中委員長)

改めまして、信州大学医学部で医学部長をしております田中と申します。よろしくお願いいたします。

(事務局)

続きまして、地方独立行政法人長野市民病院評価委員会条例第5条第3項の規定により、田中委員長に、委員長の職務を代理する委員の指名をしていただくこととなっておりますので、ご指名をお願いしたいと思います。

(田中委員長)

長野市民病院の地方独立行政法人化に関しまして、長年に渡って関わってこられた小口委員にお願いしたいと思います。小口委員よろしいでしょうか。

(小口委員) <了承>

(事務局)

ありがとうございました。

(事務局)

それでは、評価委員会条例第6条第1項の規定によりまして、委員長が議長となることになっておりますので、ここからは田中委員長に議長としまして議事の進行をお願いいたします。

(議長)

それでは、早速議事を進行していきたいと思います。まず、(2)平成29年度方針(案)について、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

資料1-1～1-3について説明

(議長)

ありがとうございました。ただいま事務局からご説明をいただきましたが、ご質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

(小口委員)

今回の評価では、中期計画については評価しなくてよいのですか。

(事務局)

今回の評価では、年度計画に対して評価いただくものです。年度計画は、中期計画を達成するために年度別に計画してあるので、観点としては、中期計画を達成するために年度計画がきちんとできているかどうかを評価していただきます。

(議長)

ほかに何か、ございますか。

それでは、ただいま説明のありましたスケジュール及び方針に基づいて、審議を行っていくことといたします。

次に、(3) 中期計画・平成 28 年度年度計画の確認について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

先ほどもご説明させていただきましたとおり、本年度、評価委員会では、主に平成 28 年度の業務実績評価を行うこととなりますことから、評価の中期計画と平成 28 年度年度計画について改めて、地方独立行政法人長野市民病院からの説明をお願いしております。

(市民病院)

資料 2－1～2－4 について説明

(議長)

ありがとうございました。ただいま長野市民病院からご説明をいただきましたが、ご質問がございましたらお願いいたします。

(柳原委員)

夫をガンで亡くし、精神的にダメージを受けた私の友達がおり、皆で励ましたりしていますが、そんな時にがん患者の家族の支援をしている病院があると聞いたことがあります。市民病院では、がん診療の相談支援体制の充実について、今現在どんな活動を行っていて、どんな課題がありますか。

また、市民病院以外の病院で、私は 3 回ほど入院して、看護師の対応などを見えています。その病院も認知症に対応しているとのことですが、看護師が忙しく余裕もないのできちんと認知症の患者に対応できているのか疑問に感じました。高齢者等に配慮した医療について、市民病院では、認知症を持つ急性期患者に対して院内に認知症対策チームでの対応が行われているようですが、その取り組みを教えてください。

それと、快適性及び利便性の向上の外来患者総合満足度が 81.6%で凄いいと思います。私は、予約時間へ病院に行っても待たされることがあり、病院で満足するという事に対して不思議だと感じます。何を基準に算定しているのか、教えてください。

(議長)

質問が3つありました。

まず、がん診療の相談支援体制の充実について、実際どのように機能しているのか、という質問です。今の質問は、がんで亡くなった奥様への支援ということですが、よろしいですか。

(市民病院)

市民病院では、がん診療の相談支援体制を早い時期から行っております。専門職員を配置しており、患者さんががんサロンでお茶を飲んだりして、リラックスできる部屋を用意しております。

ここには、がんになられたボランティアの方もいて、非常に活発に相談や支援をしています。5月からはスペースも広げて体制を拡充しました。亡くなられた方の家族のサポートもその中で行われています。

がん専門看護師や緩和ケア認定看護師の資格を持ったゼネラルマネージャーが、がん相談支援センターの中心的な役割をして、患者さんの相談や病院内の連携調整しております。毎週開催しているがんサロンでは、患者さんやご家族の方など、どなたでも参加いただいて相談されています。がんサロンはいつでも開いておりますので、看護師やソーシャルワーカーなどに相談できます。がんサロンでは同じ境遇の方、同じ経験の方が集まっているので、お話する中で情報を得たり、立ち直るきっかけをつかんだりということもあります。

また、がん相談支援センターでは社会保険労務士がいて、がんを持ちながら働く方の相談を受けられる体制でいます。社会保険労務士が常勤で就労相談に対応している病院は全国でもほとんどなく、国や県でも推奨しており、当院の特長となっております。

(坂口委員)

社会保険労務士の常駐は、本当に貴重なことだと思います。がんを持ちながら、仕事を続けていく方のサポートをしていることを知りました。資料3-1の3ページのがん相談件数が、平成27年度実績と28年度実績で比較すると半減していますが、どうしてでしょうか。

(市民病院)

がん相談の件数については、がん相談支援センターの体制が変わり、ベテランの看護師が異動したり、新しい看護師が資格を取得しに行ったりする中で、件数に影響が出たものと考えられます。

(坂口委員)

一定レベルの相談件数の維持は大切だと思います。件数が減るということは、もったいないと思って見させていただきました。

(小口委員)

カウントの仕方が変わったということはないですか。

(市民病院)

今、正確には分かりませんが、カウントの仕方が違うということはないかもしれません。

(議長)

次に、高齢者等に配慮した医療についての質問です。

看護師も一所懸命やっているが、忙しくてなかなか手が回らないという話だと思いますが、いかがでしょうか。

(市民病院)

認知症対策チームについては、今年度からスタートしております。当院の入院患者は、80歳以上の方が24%以上と高齢者の割合が高いです。参考に、信州大学医学部附属病院は80歳以上の方は12%です。当院は高齢者が多く、在宅復帰に向けてリハビリテーションが大事ということで、職員を5名増やしました。また、在宅復帰が難しい方や施設に移転する方が、十分その期間を準備できるように地域包括ケア病棟も44床開設し、高齢者の在宅復帰の支援をしております。

(柳原委員)

わがままな高齢者や暴れたりする方もいると思います。私が見た病院では、患者をベッドに縛り付けたり、ナースセンターにずっと置いたりするのを見ました。そういうのを見ると、私自身何かできないかと思います。現場は大変だと思いますが、看護師ももう少し何かできないかと思ったので質問させていただきました。ありがとうございます。

(市民病院)

大部屋で同室になった患者さんも大変です。ナースステーションの横に観察部屋があるので、他の患者さんのご迷惑になる場合には、そちらで対応させていただくなど、他の患者さんにも配慮しております。

(坂口委員)

認知症対策はとても大事で、これからの医療の核となると思います。その中で認知症対策チームを作っており、チーム医療を大切にしながら、ユーチューブで活動を発信したりして、とても素晴らしいと思い見させていただきました。

認知症の患者に対して、医師もそれぞれ専門がありますが、認知症への専門性が高い医師の意見が聴ける、横断的に対応できる仕組みはありますか。

(市民病院)

まだ始まったばかりなので、これから考えてみたいと思います。

(議長)

最後に、満足度についての質問への回答をお願いします。

(市民病院)

満足度調査の方法ですが、「大変満足」「やや満足」「どちらともいえない」「やや不満」「大変不満」の5段階でお答えいただいております。また、質問項目については、「待ち時間について」「窓口の接遇」「医師の話し方」などがあります。そして、最後に総合的な評価があります。ここにある実績は、総合的な評価の項目で、「満足」「やや満足」を足した値となります。待ち時間に関しては、やや満足度が低い傾向があります。私たちは、満足度調査の内容を確認して、病院の委員会では対策を考え、次年度に続く活動をしております。

(議長)

病院としても80%で満足することなく、更に改善するために努力しているということですね。

(市民病院)

病院での待ち時間が30分を超えると不満が出るようですが、当院での待ち時間は、平均30分かかりません。更に改善していきたいと思います。

(小口委員)

満足度について、今は病院全般的に改善していると思います。特に市民病院は頑張っています。入院患者の総合満足度は、平成27年度実績が96.2%で凄いですね。

(柳原委員)

私のかかりつけ医では、待ち時間が長いようだと言われれば順番がきたら電話をくれる対応をしていただいていたと思います。病院ではいつも待たされるという思いだったので、今回の話は勉強になりました。ありがとうございます。

(議長)

教育研修センターを作られたということですが、どのようなことをするのでしょうか。

(市民病院)

教育や人材育成には、特に力を入れたいと考えております。教育研修・メディアセンターでは、教育担当が4人、メディア担当が2人の体制で、院内の勉強や資格取得のサポートをしております。

(議長)

いろいろな病院と話をしますが、いい病院では教育がしっかりしていることが重要な要素であります。そういう意味では、長野市民病院は進んでいると思います。

(市民病院)

臨床研修センターと職員の教育研修・メディアセンターとは、今後は一緒にしていきたいと思っています。

(坂口委員)

医療安全対策について、中立的立場で一般の人と専門家の知識をつなぐ、医療メディエーターの養成を入れていただきたいと思います。

(議長)

信大病院は、医療メディエーターを導入することで、医師と患者の意見の相違が少なくなったと思います。

(市民病院)

日本医療メディエーター協会で免許を更新制にしたことから、あらためて研修した職員を確認していきたいと思っています。

(議長)

ほかに何か、ございますか。

それでは、次ぎに（４）地方独立行政法人長野市民病院からの報告事項についてですが、はじめに、平成28年度の業務実績についてご報告をお願いいたします。

(市民病院)

資料３－１について説明

(議長)

それでは、引き続き、平成29年度年度計画についてご報告をお願いいたします。

(市民病院)

資料３－２～３－３について説明

(議長)

ただいま長野市民病院からご説明をいただきましたが、ご質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

なければ、私から質問いたします。平成27年度と平成28年度を比べると、平均在院日数は11.0日から11.2日と変わりありませんが、病床稼働率が83.7%から90.3%とずいぶんと上昇しています。普通は、これだけ上がると病棟はかなり忙しくなると思いますが、病院としてはどう考えているか教えてください。

(市民病院)

昨年度の冬場の北信地域は、患者が多く、各病院が救急患者の受入制限するような状況でした。当院の冬場の稼働率は、100%ぐらいで、特に、インフルエンザ、肺炎、心不全、骨折の患者を多く受け入れました。

(小口委員)

今の質問と関連しますが、地域包括ケア病棟 44 床を開設し、一般病床が減ったことで、稼働率が上がったということもあると思います。一般病床が減ったことで、急性期の運用が厳しくなるような問題はないでしょうか。

(市民病院)

地域包括ケア病棟を開設した影響で、7 対 1 の急性期病棟がいつも満床状態となり、困ったこともありました。

(議長)

心臓血管外科では、緊急手術は行う予定ですか。

(市民病院)

緊急手術は、医師が 1 名だとできませんので、予定手術を行っていく予定です。これから充実していきたいと思います。

(柳原委員)

一年で大改革を行っていますが、職員の疲弊が心配です。メンタルヘルスのサポートを行い、継続して勤められる環境作りをお願いします。

(市民病院)

サポート体制を十分にすると人件費が増えるという地方独立行政法人の経営のジレンマもあり、一番の悩みです。

(議長)

医師や看護師の過重労働が問題となっています。大学病院でも大学本部から働かせ過ぎじゃないかと言われるそうですが、働くなとも言えないし、バランスが難しいと思います。病院の職員も満足して働ける体制が重要かと思います。

(岩野委員)

働き方改革でいわれるように、これからは昔のような働き方では対応できないと思います。

(市民病院)

看護師は案外残業が少ないのですが、事務部門の残業が非常に多いのが現状です。事務部門の残業が減るように、業務の改善をしていきます。

(議長)

それでは、以上をもちまして、本日の議事は、すべて終了しました。ありがとうございました。

次回の評価委員会では、平成 28 年度の業務実績評価等を行うこととなりますので、よろしくお願いいたします。

○ その他

(事務局)

どうも、ありがとうございました。

「5 その他」といたしまして、事務局から今後の予定につきましてご説明申し上げます。

先ほどの評価委員会スケジュールのとおり、次回の委員会につきましては、7月11日（火）に長野市民病院で開催を予定しております。

お忙しいところ恐縮ですが、改めて開催のご案内をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

○ 閉 会 午後4時00分

(事務局)

それでは、只今をもちまして、第1回 地方独立行政法人長野市民病院評価委員会を閉会いたします。

どうもありがとうございました。